

デジタルと自然・脱炭素と京都文化

-2025 以降を見据えて-

2022年 **8/26(金)**
14:40~15:50

メディアアーティスト

講師 **落合 陽一** 氏

1987年生まれ、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了、博士(学際情報学)。筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長、准教授・JSTCRESTxDiversity プロジェクト研究代表。ピクシーダスト テクノロジーズ代表取締役。

筑波大学学長補佐、内閣府知的財産戦略ビジョン専門調査会委員、内閣府「ムーンショット型研究開発制度」ビジョナリー会議委員及び内閣府ムーンショットアンバサダー、デジタル改革法案WG構成員、文化庁文化交流使、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーなどを歴任。

著作として「魔法の世紀」、「デジタルネイチャー」など。メディアアートを計算機自然のヴァナキュラー的民藝と捉え、「物化する計算機自然と対峙し、質量と映像の間にある憧憬や情念を反芻する」をステートメントに、研究や芸術活動の枠を自由に越境し、探求と表現を継続している。



講演概要

落合陽一はコンピュータ研究者や起業家やアーティストの側面から社会を観察し続けるなかで、現代社会の変化に着目している。コロナ禍で様々な業態に変化が訪れるなか、DXの市場は成長を続け、我々の生活にはデジタルツールを用いたコミュニケーションが増え続けている。落合の提唱する計算機自然の中でコアとなる考え方は「限界費用ゼロ化」に伴うAIの民主化、プラットフォームの分散化、インフラの再活用である。この講演では近年着目している持続可能性と炭素循環、定在する遊牧民化する我々の生活やポストコロナ社会の舵取りはどう変化していくのか議論する。

参加費 **京都商工会議所会員 無料** ※非会員の方もご入会によりご参加頂けます

参加をご希望の方は下記 URL よりお申し込みください。

https://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_117986.html



※ご記入頂いた個人情報は、本講演会の管理・運営のため、京都商工会議所からの各種案内・連絡に使用いたします。

問合先 京都商工会議所 会員部 研修事業課 TEL : 075-341-9762 E-mail : jinzai@kyo.or.jp